



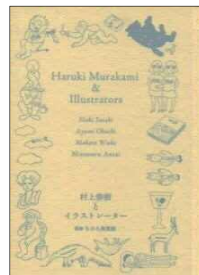
2021年スタート！家ごもいのお供に本はいかが？

『今日から始めるコツコツのコツ:
トップランナー11人が夢を叶えるために大切にしたこと』
コツコツブック制作委員会 編 159/K



様々な分野で活躍する11人のトップランナーたちに実践してきた「コツコツのコツ」をインタビュー。どのようにして夢を叶えたのか、失敗や挫折の乗り越え方などを紹介している。まだ自分の将来が想像できない人も、ここで紹介されている「コツコツのコツ」を参考にしてみては？

『村上春樹とイラストレーター:
佐々木マキ、大橋歩、和田誠、安西水丸』
ちひろ美術館 監修 726.5/M



村上春樹作品の表紙や挿絵でおなじみの4人のイラストレーターが自身の作品と村上春樹との仕事について語る。物語ができてから描くイラストもあれば、絵からインスピレーションを受けて書かれた文章もある。イラストの解説を読んでからもう一度村上春樹作品を読むと、イメージが変わりそうだ。

『ふるさとして呼んでもいいですか：
6歳で「移民」になった私の物語』
ナディ 著 334.41/N



6歳の時に、出稼ぎの両親と共に、イランから来日したナディ。オーバーステイ(超過滞在)のまま思春期を過ごす。日本という異文化で生活する、彼女の物語。コラムでは、日本の難民に対する現状が紹介されている。「自分には関係ない」とは思わずに、日本で暮らす外国人について考えてみよう。

『英語を英語で理解する英英英単語』
 ジャパンタイムズ出版 英語出版編集部&ロゴポート 編
 834/J/1~3



説明が英語で書かれている単語帳。英語で説明しているのも、より単語のニュアンスが分かる。また英語での説明力も身に付く。日本語の解説もあるので、英語に自信がない人でも使える。初級・中級・上級編と分かれていますので、自分のレベルに合わせてどうぞ。

『考えるナメクジ：人間をしのぐ驚異の脳機能』
松尾亮太 著 484.6/M



ナメクジは見た目も悪く、野菜や果物を食い荒らす人間社会にとつての邪魔者？実はナメクジは、犬並みの高度な学習記憶があり、眼がなくても光を感知することができる優れた生き物。ナメクジ博士がナメクジの脳のしくみについて分かりやすく紹介する。

『夜明けのすべて』
瀬尾まいこ 著 913.6/Seo



PMS(月経前症候群)でイライラが抑えられない美紗は、転職してきたばかりの山添君にあたってしまう。実は山添君はパニック障害を発症し、生きがいを失っていた。2人は自分の病気は治せなくても、相手を助けることができるのではないかと考えるようになる。読み終わった後に、生きるのが少し楽になる物語。

『日本人建築家が建てた、海外の美しい建築』
 パイインターナショナル 編著 520.87/P



日本人が手掛けた美術館や劇場、学校など55の建築物を写真とともに紹介。再生可能な構造物を使ったり、紙の建築材を使ったり、アイデアを感じられる。またその地域の環境に合わせて建てられた建物は、日本では見ることが出来ない斬新なデザインが特徴的。

『心にいつも猫をかかえて』
村山早紀 著 914.6/M



作家でもある村山早紀さんはこれまでに4匹の猫と暮らしてきた。その猫たちとのエッセイや猫にまつわる短編小説を収録。村山さんから見た猫の愛おしい姿や習性などを綴っている。猫との暮らしに共感したり、かわいい写真に癒されてみませんか。

『甲南の100選』

2020年11月、甲南女子学園は創立100周年を迎えました。これを記念して、先輩方が皆さんに「お勧めの点」とともに紹介してくれた本を掲載している『高3からの読書案内』と『中1さんへの読書案内』から100作品を選出しました。先輩方のお勧めの文章を読んで、気に入った本を読んでみませんか。

『甲南の100選』は、甲南女子中高ホームページと図書館トップページから見ることができます。

※『高3からの読書案内』：60回生から73回生までの卒業生が高校3年生の時に在校生に向けて推薦した作品

※『中1さんへの読書案内』：67回生から75回生までの中学2年生が、4月に入学する新入生に向けて推薦した作品

『甲南の100選』からのクイズです

ここに記載されている10冊の著者は誰でしょう？ “「お勧めの点」”も参考に、下記のa～jを当てはめてみましょう。

書名	先輩が書いてくれた「お勧めの点」の文章から一部抜粋
1.『図書館戦争 図書館戦争シリーズ(1)』	今、自分が享受している「表現の自由」に思いを馳せて読むもよし、個性的な登場人物が繰り広げるラブコメに重点を置いて読むもよし、いろいろな読み方ができる作品です。
2.『精霊の守り人』	人の世と精霊たちの世が混在する世界のお話。ファンタジーが好きな人はぜひ一度読んでみてください。
3.『夜のピクニック』	高校生活最後のイベントである「歩行祭」。貴子は誰にも言えない秘密を清算するために賭けをしました。
4.『李陵・山月記』	昔の中国を舞台とする作品です。作者は昭和の文豪の一人で、隠れた名作が多くあります。
5.『そして誰もいなくなった』	ある孤島に集められた面識のない10人の男女の共通点は、過去に罪を犯したことでした。
6.『夏の庭』	人との関わり方によって、その人自身の見方を変えたり、自分の考えを考え直せたりすることがわかります。
7.『西の魔女が死んだ』	自分の意志を強くし、何事も自分で決めるという地味なものです。祖母がまいにち魔女の修業として教えていたことは「生きる楽しさ」です。
8.『君たちはどう生きるか』	コペル君を自分に置き換えて読んでいくことで、自分の視野を広げ生きる意味を深く考えることができます。
9.『老人と海』	自然描写が細かく表現されていて、その場の風景が浮かび臨場感があります。
10.『思考の整理学』	「知」という営みに対する向き合い方を考える上で、まさに礎となる一冊です。

a. 湯本香樹実
f. 有川浩

b. ヘミングウェイ
g. 恩田陸

c. 外山滋比古
h. アガサ・クリスティー

d. 梨木香歩
i. 上橋菜穂子

e. 吉野源三郎
j. 中島敦



『鳥（からす）に単（ひとえ）は似合わない』 阿部智里 著（文春文庫）

913.6/7/1

八咫鳥の一族が支配する世界「山内」で、世継ぎである若宮の後（きさき）選びが始まった。

大貴族四家の四人の魅力的な后候補たちのバトルが水面下で繰り広げられる中、様々な事件が起こる。。。誰も見たことのない「異世界」で繰り広げられるファンタジー。著者はこの作品を20歳で書き始め、松本清張賞を2012年に最年少で受賞した。2020年9月に第8作目となる『楽園の鳥』を出版。どの巻から読んでも楽しめます。

『八咫鳥（やたがらす）シリーズ』

第1巻『鳥に単は似合わない』 第2巻『鳥は主を選ばない』
第3巻『黄金の鳥』 第4巻『空棺の鳥』 第5巻『玉依姫』
第6巻『弥栄の鳥』 外伝『鳥百花 螢の章』

～ 蔵書点検が終わりました ～

ご協力、ありがとうございました。
いつもは図書委員の皆さんと一緒に3月に行っている蔵書点検ですが、コロナ感染を避けるために、今年は12月に職員だけで行いました。
迷子の本も元の場所に戻り、本が探しやすくなりました。
家で過ごす時間が長い今こそ、読書タイムを楽しんでください。



『甲南の100選』クイズの答え

1-f, 2-i, 3-g, 4-j, 5-h, 6-a, 7-d, 8-e, 9-b, 10-c